



(馬と少女) 1940年、個人蔵 (兵庫県立美術館寄託)

Yasui Nakaji

生誕
120
年

安井仲治

僕の大写真
の切な

1903-1942

2024

Photographs

2.23^{金祝}—4.14^日

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



どうしてもシャッターを

切らねばゐられなかつたのです。

休館日 | 月曜日 (4/8は開館) | 開館時間 | 10時から
18時 (金曜日は20時まで) *入館は閉館30分前まで

|主催| 東京ステーションギャラリー [公益財団法人東日本鉄道文化財団]、共同通信社 |協力| 銀遊堂、
PGI、株式会社アフロ |協賛| T&D 保険グループ |助成| 公益財団法人ポーラ美術振興財団



作品 1939年 (モダンプリント制作: 2023年)

Yasui Nakaji

生誕
120
年

安井仲治

僕の大
切な
写真

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



1903-1942

Photographs

2024

2.23^{金祝}—4.14^日

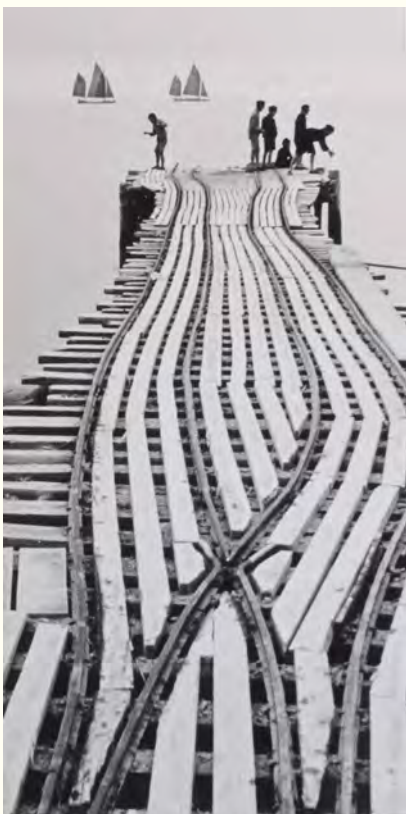
美
し
き
も
の
は、
じ
つ
に
随
所
に
あ
る。

| 休館日 | 月曜日 (4/8は開館) | 開館時間 | 10時から
18時 (金曜日は20時まで) *入館は閉館30分前まで

| 主催 | 東京ステーションギャラリー [公益財団法人東日本鉄道文化財団]、共同通信社 | 協力 | 銀遊堂、PGI、
株式会社アフロ | 協賛 | T&D 保険グループ | 助成 | 公益財団法人ポーラ美術振興財団

日本近代写真の金字塔

日本写真史において傑出した存在として知られる安井仲治（1903～1942）の20年ぶりのなる回顧展を開催します。大正・昭和戦前期の日本の写真は、アマチュア写真家たちの旺盛な探求によって豊かな芸術表現として成熟していききました。この時期を牽引した写真家の代表格が安井仲治です。安井は38歳で病没するまでの約20年という短い写真のあいだに驚くほど多彩な仕事を発表しました。戦前日本写真界のフロントラインをひた走った安井の作品は、同時代の写真家をはじめ、土門拳や森山大道など、後世に活躍した写真家や評論家・写真史家からも掛け値なしの称賛を得ています。



安井仲治

生誕 120年 僕の大切な写真

Yasui Nakaji

1903-1942

Photographs

20年ぶりによみがえる全貌
本展では200点以上の作品を通じて安井仲治の全貌を回顧します。戦災を免れたヴィンテージプリント約140点、ネガやコンタクトプリントの調査に基づいて制作されたモダンプリント約60点のほか、さまざまな資料を展示。安井の活動を実証的に跡付け、写真の可能性を切りひらいた偉大な作家の仕事をおよそ100年の時を超えて現代によみがえらせます。

いま、見て知るべき、世界への感受性

18歳で関西の名門・浪華写真倶楽部に入会した安井は、写真家としてまったく間に頭角を現し、先進的な作品で日本全国にその名が知られる存在になりました。欧米の先進的な写真表現や理論をいち早く受容し理解した安井は、それらを換骨奪胎することで新しい表現を次々に生み出していったのです。しかし、当時の写真界で安井が傑出した理由はそれだけではありません。独自の被写体を見出す感性こそ、余人をもって代えがたい安井の魅力だと言えるでしょう。混沌とした世界の一角にカメラを向け、そこに隠された美を抽出する安井の卓越したセンスは、日本全国のアマチュア写真家たちから高い評価を受けました。

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

JR 東京駅 丸の内北口 改札前

tel.03-3212-2485

<https://www.ejrccf.or.jp/gallery/>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1

丸の内
皇居方面

JR 東京駅
丸の内北口
ドーム

東京ステーション
ギャラリー

自由通路

丸の内
北口改札

八重洲方面

一般 1,300 (1,100) 円

高校・大学生 1,100 (900) 円

中学生以下 無料

※（ ）内は前売料金 [1/5～2/22 オンラインチケットで販売] ※障がい者手帳等持参の方は100円引き（介添者1名は無料）※チケット販売＝オンラインチケット www.e-tix.jp/ejrccf_gallery/（前売券・当日券）、当館1階入口（当日券）※都合により開催内容が変更になる場合があります
※最新情報や関連イベント（1月に告知予定）は美術館ウェブサイトでご案内します

次回展 | どうぶつ百景 江戸東京博物館コレクションより
2024年4月27日 [土] → 6月23日 [日]

僕はこんな美しいものを見たよ



オンラインチケット

1. 浪華ユダヤ子供 1941年 個人蔵（東京国立近代美術館寄託）/ 2. （複製） 1933年（モンプリント制作）2023年/ 3. 海辺 1933年 個人蔵（東京国立近代美術館寄託）/ 4. （他） 1938年頃 個人蔵（東京国立近代美術館寄託）/ 5. 進化 1940年 個人蔵（東京国立近代美術館寄託）



日本近代写真の金字塔



安井仲治

生誕 120年 僕の大切な写真

Yasui Nakaji

1903-1942

いま、見て知るべき、世界への感受性

日本写真史において傑出した存在として知られる安井仲治(1903-1942)の20年ぶりとなる回顧展を開催します。大正・昭和戦前期の日本の写真は、アマチュア写真家たちの旺盛な探求によって豊かな芸術表現として成熟してきました。この時期を牽引した写真家の代表格が安井仲治です。安井は38歳で病没するまでの約20年という短い写歴のあいだに驚くほど多彩な仕事を発表しました。戦前日本写真界のフロンティアをひた走った安井の作品は、同時代の写真家をはじめ土門拳や森山大道など、後世に活躍した写真家や評論家・写真史家からも掛け値なしの称賛を得ています。

1. 旗 1931年(モンパシント制作)
2. 海辺 1938年、個人蔵(兵庫県立美術館寄託) / 3. 即興人蔵(兵庫県立美術館寄託) / 4. 即興人蔵(兵庫県立美術館寄託) / 5. 即興人蔵(兵庫県立美術館寄託) / 6. 海辺 1941年、個人蔵(兵庫県立美術館寄託)



Photographs

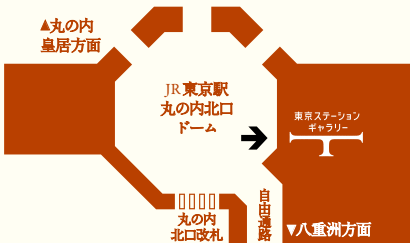
20年ぶりによみがえる全貌

本展では200点以上の作品を通じて安井仲治の全貌を回顧します。戦災を免れたヴィンテージプリント約140点、ネガやコンタクトプリントの調査に基づいて制作されたモダンプリント約60点のほか、さまざまな資料を展示。安井の活動を実証的に跡付け、写真の可能性を切りひらいた偉大な作家の仕事をおよそ100年の時を超えて現代によりみえがえさせます。

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

JR 東京駅 丸の内北口 改札前
tel.03-3212-2485

<https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1



一般 1,300 (1,100) 円
高校・大学生 1,100 (900) 円
中学生以下 無料

* () 内は前売料金 1/15~2/22 オンラインチケットで販売
* 障がい者手帳等持参の方は100円引き (介添者1名は無料) * チケット販売=オンラインチケット
www.e-tix.jp/ejrcf_gallery/ (前売券・当日券)、当館1階入口(当日券) * 都合により開催内容が変更になる場合があります
* 最新情報や関連イベント(1月に告知予定)は美術館ウェブサイトでご案内します

| 次回展 | どうぶつ百景 江戸東京博物館コレクションより
2024年4月27日[土]→6月23日[日]



2.23(金) 4.14(日) なぜ、私たちは今日も写真撮るのでしょうか?